

松浦研究室 卒業研究予稿集手引き

(プログラム作成および改良・実験装置改良)

A. 予稿集の内容

【背景】

自分の行ってきた卒業研究を顧みて、

- c. なぜこの研究(プログラム作成および改良・実験装置改良)をする必要があるのか、
 - d. 今までに、松浦研究室ではどの部分が行われてきたか
- を書くこと。

【目的】(「【目的】」または「【はじめに】」として、背景といっしょに書いてもよい。)

背景から考えて、どの部分に注目して今回プログラム作成・実験装置改良を試みるかを**具体的に**書くこと。

【方法】

どのような方法・理論を用いて、プログラムの作成および改良をするかを**具体的に**書くこと。
または、どのように実験装置を改良するかを**具体的に**書くこと。

【結果】

今回の研究により、グラフ・表・写真等を用いて**具体的に**改良された点を示すこと。
現時点での問題点を挙げ、今後どのようにして解決しなければならないかを**具体的に**検討すること。

ここが卒業研究で最も重要な節である。

【結論】

必ず、「【方法】」及び「【結果】」のところで書いた改良点のうち、重要な改良点だけを簡単にまとめて書くこと。

【謝辞】 本研究を行うにあたって、お世話になった人(松浦研究室以外)に謝辞を書くこと。

【参考文献】 本予稿集で引用した理論、実験結果等の論文を列挙すること。

本文中に示した番号 1)、2)...と参考文献の 1)、2)...とを対応付けること。

B. 予稿集の書き方

次の順序に従って、予稿集を作成すること。

1. 節ごと(背景、目的、方法、結果・・・)にキーワード(書かなければならない単語)を列挙すること。
2. 各キーワードを用いて、単文(主語+目的語+述語)を作り、番号を付けること。
3. 各単文を並べ替え、論理的に(話の筋が飛ばないように)読めるように並べること。
4. 単文間に接続詞等を付け、日本語として読みやすいようにすること。
5. 何回も読み返して、引っかかるところがあれば訂正すること。
(いったん研究を忘れて、初めてこの研究内容を読む読者になって、読み直すこと。)